

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4200
No 2101	補助金名	黒船祭執行会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金補助及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	黒船祭執行会	事務局	観光交流課 観光戦略係
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	S 9	補助終期設定	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	13,000,000	4,000,000	17,000,000
26	16,900,000	0	16,900,000
25	14,500,000	0	14,500,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	14,500,000	0	14,500,000
24	23,200,000	0	23,200,000
23	3,900,000	0	3,900,000
22	12,000,000	0	12,000,000
21	12,000,000	0	12,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	昭和9年に開港80周年事業として、開港に尽力された先人を顕彰するため、開始された。	
目的・内容 ②	開港の歴史を記念し、先駆者を顕彰し、併せて記念イベントを実施し、下田の発展に寄与するため。	10
国・県の補助の有無	無し(第74回から県補助打ち切り)	
公益性の所在 ①	日米交流の絆としての祭典と捉えているので、公益性については高評価している。	10
市が補助すべき理由 ②	日米交流の原点であり、下田市の3大イベントでもあるため、補助することが責務となっている。	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途 ③	式典費 行事費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	第76回は、第75回と同規模事業印刷費等の高騰を加味し、予想される特殊要因を増減させ17,000千円を算出した。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	10
成果・費用対効果 ④	下田開港記念事業として、下田市が日米親善、国際交流の意義は大きい。宿泊客の増加など観光振興に成果を上げることが、大きな目的の一つであり、黒船祭に期待を寄せられることは大きい。PRの仕方について課題もある。「国際交流」と「観光」に、切り分けて考えるべきという意見もある。	10
同一団体への他の補助金の有無	なし	
廃止の見込み、廃止の影響	約1/3(かつては1/2)を市民等からの寄附に頼っているが、年々目減りしている。補助金の廃止は黒船祭の存続に係わる。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4200
No 2102	補助金名	下田市夏期海岸対策協議会補助金	
根拠法		下田市海水浴場に関する条例	
交付要綱等名称			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	下田市夏期海岸対策協議会	事務局	観光交流課 観光戦略係
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	11,000,000	0	11,000,000
26	12,000,000	0	12,000,000
25	10,000,000	0	10,000,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	10,000,000	0	10,000,000
24	11,400,000	0	11,400,000
23	12,084,000	0	12,084,000
22	9,500,000	0	9,500,000
21	9,651,000	0	9,651,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため	
目的・内容	② 海水浴場等による水難の未然防止及び水難者の捜索救護並びに海水浴場等の管理運営に必要な対策を実施することを目的とする。	10
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在	① 観光立市下田として、海水浴場の安全確保・環境向上のための役割が責務となっている。	10
市が補助すべき理由	② 夏期対支部の独自収入に頼り、費用の多くを賄っているが、行政の責務である以上、来遊客の安全性等を確保する使命があるため。	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途	③ 事業費(監視費、支部事業費、清掃業務費等)	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法	③ 各事業費の積み上げで積算している。白浜原田放送設備改修継続事業あり。算出のためには、繰越額が大きく影響される。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	③ 問題なし	10
成果・費用対効果	④ ライフセイバー等の活動により、水難事故などの防止に大きな役割を果たしている。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	下田市海水浴場に関する条例が市の責務であり、廃止した場合は、市で直営管理せざるを得ない。今後、各支部で市補助金以外の運営財源が確保できたり、直営運営となれば、多額の費用負担を強いられることが予想される。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2103	補助金名	下田市観光協会補助金	
根拠法	一般社団法人		
交付要綱等名称	下田市負担金補助及交付金に関する規則		
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	(一社)下田市観光協会	事務局	(一社)下田市観光協会
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	31,740,000	0	31,740,000
26	27,740,000	0	27,740,000
25	25,400,000	0	25,400,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	25,400,000	0	25,400,000
24	23,000,000	0	23,000,000
23	22,784,000	3,800,000	26,584,000
22	29,077,080	0	29,077,080
21	16,800,000	0	16,800,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興組織設立による	
目的・内容	② 下田市観光協会の運営と活動を支援し、イベントの開催や各種宣伝を通じて観光客の誘客に努めるとともに観光の振興を図る	10
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在	① 観光業務の担い手として、PR・誘客活動など行政とともに活動している	10
市が補助すべき理由	② 精通性、機動性を考えると、絶対的な必要性がある	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途	③ 宣伝事業費、事業費、運営費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法	③ 例年、ゼロベースの積み上げによる積算をしてる ※H27については、「外ヶ岡交流館」指定管理候補者として手続きが進行中であるため、現時点での画一的な算出は難しい。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	③ 問題なし	10
成果・費用対効果	④ イベントの開催や誘客キャンペーン等の実施により、来遊客の減少に一定の歯止め効果をあげている。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	下田市のPR活動が停止し、各種イベントが実施できなくなることで、さらなる観光客が減少する悪循環が予想される。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2104	補助金名 下田市民宿組合連合会補助金		
根拠法	任意団体		
交付要綱等名称	下田市負担金補助及交付金に関する規則		
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	下田市民宿組合連合会	事務局	下田市民宿組合連合会
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	70,000	0	70,000
26	80,000	0	80,000
25	80,000	0	80,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	80,000	0	80,000
24	80,000	0	80,000
23	80,000	0	80,000
22	80,000	0	80,000
21	80,000	0	80,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興組織設立による	
目的・内容 ②	下田市民宿組合連合会の運営と活動を支援を通じて観光客の誘客に努めるとともに観光の振興を図る	10
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在 ①	下田市の観光の一端を担う民宿の連携を図り、観光政策を推進している	10
市が補助すべき理由 ②	民宿は下田が発祥であり、地域に根ざした小規模な宿泊施設を支援していくため必要性があるため	10
代替手段との比較	なし	
補助金の主な使途 ③	誘客宣伝費、行事分担金	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	前年同額 80千円-10千円=70千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	10
成果・費用対効果 ④	伊勢エビまつりの開催等を、ホームページによる情報発信により来遊客の誘客活動をしている。観光客の誘客に努めるとともに観光の振興を図っているが、年々会員は減少傾向にある。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	会員数も減少傾向にあるため、運営そのものが懸念されている。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2105	補助金名	花火大会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金補助及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	伊豆白浜観光協会 伝統河内花火保存会 夏季花	事務局	各団体
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率 %	1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	900,000	0	900,000
26	985,000	0	985,000
25	985,000	0	985,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	985,000	0	985,000
24	362,000	623,000	985,000
23	1,135,000	0	1,135,000
22	585,000	0	585,000
21	585,000	0	585,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	観光振興のため	
目的・内容 ②	観光振興のため	9
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在 ①	地域振興のみならず、観光客誘客のための花火打ち上げということで、公益性はある	9
市が補助すべき理由 ②	実施主体の予算額減少により、補助金の比重が増加している 夏のイベントとして、集客につなげられる要素はあると認識している	8
代替手段との比較		
補助金の主な使途 ③	行事費(花火打ち上げ費用)	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	白浜海の祭典花火大会 50千円、下田納涼花火大会 715千円、河内手筒花火大会135千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	10
成果・費用対効果 ④	市外からの来遊客の増加については未知数であるが、海水浴以外の+アルファーとしての花火大会による顧客満足度向上につなげられる。	8
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	伝統行事の継承が難しくなる	

○評価点

①公益性	9	②必要性	8.5	③適格性	10	④効果	8
------	---	------	-----	------	----	-----	---

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2106	補助金名	ボランティアガイド協会補助金	
根拠法	任意団体		
交付要綱等名称	下田市負担金補助及交付金に関する規則		
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	ボランティアガイド協会補助金	事務局	下田ボランティアガイド協会
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	H 13	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	90,000	0	90,000
26	90,000	0	90,000
25	90,000	0	90,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	90,000	0	90,000
24	180,000	0	180,000
23	180,000	0	180,000
22	180,000	0	180,000
21	180,000	0	180,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	下田市教育委員会「ガイド養成講座」修了者等により、平成13年度にボランティアガイド協会が設立されたことによる。	
目的・内容 ②	ボランティアガイド協会の活動支援・育成をし、観光客の受け入れ態勢の整備を図り、訪れる人とのふれあいや交流を促進する。	10
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在 ①	ボランティアとしての活動だが、観光に必要な不可欠となっている。	10
市が補助すべき理由 ②	一部有料化が始まっており、近い将来には独立運営ができると思われる。観光の最前線で活動している団体であり、今後もその役割は大きい	10
代替手段との比較		
補助金の主な用途 ③	研修費、事務費等	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	H27においてもH26と基本同額とするが、立ち行かなくなる場合には増額を検討する H25の予算措置については、活動評価高いがガイド料徴収等による自主財源確保による次年度繰越金が多いため、前年度の半額補助とした	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	補助金以上の繰越金があるが、高齢化が進み新規会員が増えていない状況でガイド養成講座、研修費等の支援をしていきたい。H26より家賃支払い発生。	8
成果・費用対効果 ④	利用者には大変好評であり、下田の観光メニューの目玉の一つとなっているが、ガイド減少に伴い、案内数も減少している H23年2月 案内10万人達成 協会の運営・活動に影響あるが、18年度10月より予約客のみ有料化(一人100円)19年度からも同様に一部有料化で実施している。H26より値上がされた。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	下田市のおもてなしを担う活動団体であるため、廃止となると団体来遊者に対する影響が大きい	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	9.33	④効果	10
------	----	------	----	------	------	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2107	補助金名	伊豆下田地区教育旅行協議会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	伊豆下田地区教育旅行協議会	事務局	下田市 観光交流課
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	35,000	0	35,000
26	40,000	0	40,000
25	40,000	0	40,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	40,000	0	40,000
24	40,000	0	40,000
23	40,000	0	40,000
22	40,000	0	40,000
21	40,000	0	40,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	須崎地区で定着していた体験型修学旅行を他地区(田牛・白浜・外浦)へ広めるため	
目的・内容	② 小中学生の修学旅行及び体験学習等の教育旅行誘致推進	10
国・県の補助の有無	終了 国 2,185千円 食と地域の交流促進対策交付金事業(H23,H24) 終了 県 180千円 子ども農山漁村交流プロジェクト支援事業(H23) ※直接伊豆下田地区教育旅行協議会へ補助	
公益性の所在	① 現在4地区の協議会であるが、さらに広域組織になれば公益性はあがる	10
市が補助すべき理由	② 共同宣伝事業や、大きな団体の受入に備えるためにも、協議会の必要性は高い	10
代替手段との比較		
補助金の主な用途	③ 通年はHP維持管理費に当てている。国、県の補助は、それぞれ特定事業に充てた(H23、H24)	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法	③ 最低限のホームページ経費分を計上している。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較	③ 問題なし	10
成果・費用対効果	④ 市全体で取り組んでいるという姿勢が他地域に安心感を与え、中京地区及び神奈川地区の教育旅行生を増やしてきた。 また静岡県東部地域においても誘致活動を行い、近隣地域からの受け入れも増加している。	10
同一団体への他の補助金の有無	無し	
廃止の見込み、廃止の影響	下田市全体として、キャラバン等のPR活動が出来なくなり、旅行数の減少が予想される。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4253
No 2108	補助金名	自然体験活動推進協議会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	下田市自然体験活動推進協議会	事務局	観光交流課 観光戦略係
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	0	0	0
26	900,000	0	900,000
25	300,000	0	300,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	300,000	0	300,000
24	300,000	0	300,000
23	250,000	0	250,000
22	250,000	250,000	500,000
21	500,000	0	500,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	一季集中型の観光から四季型・通年型観光地への転換を目指し、体験型観光メニューの充実を図るため。また、開港150周年記念事業より継続している。	
目的・内容 ②	自然を活かした観光の掘り起こし。そして自然をテーマとしたガイド組織を設立し、案内を通して訪れる人とのふれあいや交流を促進するため。平成25年度は、「世界一の海づくりプロジェクト」事業推進に合わせ、大幅な組織改変を予定している。また、イベント事業としてシートゥーサミット実施を目指す。	10
国・県の補助の有無	都市農村共生・対流交付金事業(国庫補助) H25 4,100千円 H26 4,529千円	
公益性の所在 ①	観光誘致を柱として、地域の子どもの自然体験教育や自然環境保護にも関連している。また、下田市観光まちづくり推進計画に沿った事業を実施予定であるため、十分な公益性がある。	10
市が補助すべき理由 ②	協議会があることにより、それぞれのボランティア的な個別の活動を連携させることは必要であり、協議会の活動が教育旅行の誘致、伊豆半島ジオパーク構想の推進に繋がっていく。観光基本計画に掲げるプロジェクト推進のため必要	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途 ③	構成団体活動費補助、ガイド養成費等事業費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	前年度同額基本事業費300千円+モンベルフレンドエリア登録600千円	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	10
成果・費用対効果 ④	本活動により育成した指導者が教育旅行の体験指導を行うなど、他の観光事業にも関わりを持つようになってきている。 ニューツーリズム、グリーンツーリズム等自然体験型の観光の需要は今後益々増えていく。	10
同一団体への他の補助金の有無	なし	
廃止の見込み、廃止の影響	多様化する観光需要に対応が出来ず、下田の特性を活かしたまちづくりが困難となる。 ※現在、枠組み等の再構築を検討中	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----



平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4350
No 2109	補助金名	海岸砂防柵設置事業補助金	
根拠法	下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱		
交付要綱等名称	下田市海水浴場整備事業補助金交付要綱		
総合計画の位置付け	施策体系	4-3-1	防災
	基本目標	防災意識が高く、災害に強いまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	長田区 原田区 外浦区	事務局	下田市 観光交流課
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input checked="" type="radio"/> 活動費の補助 <input checked="" type="radio"/> 施策的補助 <input checked="" type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	415,000	0	415,000
26	170,000	0	170,000
25	170,000	0	170,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	120,000	0	120,000
24	120,000	0	120,000
23	120,000	0	120,000
22	170,000	0	170,000
21	170,000	0	170,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	砂飛散のため、道路、家屋等に被害が出ていた。そのため地域住民が中心となり対策を施し、市としてもその費用の一部を負担したことから始まる	
目的・内容 ②	自然環境の保護・保全	9
国・県の補助の有無	白浜大浜の砂防柵設置については資材の現物支給あり	
公益性の所在 ①	道路への飛砂を減少させる目的があり、公益上役割は大きい	10
市が補助すべき理由 ②	飛砂防止、自然環境の保護・保全、安全対策上必要である	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途 ③	資材費、機械借上げ料	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	415千円(長田50千円、原田70千円、外浦295千円) ※外浦については県よりの資材提供なく、地元負担を強いられている。	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	10
成果・費用対効果 ④	砂の飛散防止、自然環境の保護 ※長田区はH23から飛散がなかったため、事業実施を見送っている。	10
同一団体への他の補助金の有無		
廃止の見込み、廃止の影響	飛砂防止に大きな影響が出る。特に、白浜大浜に沿う国道135号への影響は計り知れない。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	9.5	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	-----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2110	補助金名	まちおこしカジキサポートクラブ補助金	
根拠法	任意団体		
交付要綱等名称	下田市負担金補助及交付金に関する規則		
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	まちおこしカジキサポートクラブ	事務局	まちおこしサポートクラブ
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	補助終期設定	補助率	% 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	700,000	0	700,000
26	700,000	0	700,000
25	700,000	0	700,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	700,000	0	700,000
24	700,000	0	700,000
23	700,000	0	700,000
22	1,400,000	700,000	2,100,000
21	1,000,000	0	1,000,000

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	「H20国際カジキ釣り30回記念大会」より、注目度や事業規模等も大きくなっていることから、平成20年度から本補助が開始された。	
目的・内容 ②	「国際カジキ釣り大会」は世界最大級のカジキ釣り大会であり、下田の夏のイベントとして定着している。H26は36回目の大会となる。事業の成功を収めることにより、十分なPR効果が期待できることから補助を行うものである。カジキ釣り大会とマリンフェスタを同時開催している。	10
国・県の補助の有無	無し	
公益性の所在 ①	カジキサポートクラブは本大会の市民主導によるサポート団体であり、官民協働事業の一翼を担っている	10
市が補助すべき理由 ②	本補助金はカジキ釣り大会30回の記念という点における補助金であった。経済波及効果が大きく事業を盛大かつ円滑に実施するため必要である。	10
代替手段との比較	なし	
補助金の主な使途 ③	運営費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	前年度同額(700千円)	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題無し	10
成果・費用対効果 ④	年々参加艇が増加しており、大会規模が大きくなっている。 参加艇数 H20(30回記念)111艇 H21 92艇 H22 102艇 H23 93艇 H24 93艇 H25 101艇	10
同一団体への他の補助金の有無		
廃止の見込み、廃止の影響	国際カジキ釣り大会は他市町からの誘致オファーがあり補助金を廃止すると、大会が他市町へ移る可能性が大である。カジキ釣り大会と同時開催している夏のイベントとして定着しているマリンフェスタの開催も危ぶまれる。	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4253
No 2113	補助金名	伊豆下田サマーフェスタ実行委員会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称		下田市負担金補助及び交付金に関する規則	
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	伊豆下田サマーフェスタ実行委員会	事務局	下田商工会議所
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	24	補助終期設定	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	0	0	0
26	1,000,000	0	1,000,000
25	1,000,000	0	1,000,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	1,000,000	0	1,000,000
24	300,000	0	300,000
23			

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	東日本大震災による夏の入込客を回復させる目的で、夏に個々で実施していた各団体が終結して、「伊豆下田サマーフェスタ実行委員会」が平成23年度後半に設立された。		
目的・内容 ②	夏の賑わいを取り戻し、地域活性化と誘客を図る。		10
国・県の補助の有無	無し		
公益性の所在 ①	海水浴客に頼らない夏に行う事業としての公益性は高い		10
市が補助すべき理由 ②	地域活性化に寄与する新たな官民一体で取組む事業として必要である。		10
代替手段との比較			
補助金の主な用途 ③	H24 新規2事業への補助 H25～ 広報宣伝経費への補助		10
当初目的の達成度			
予算要求額の算出根拠・方法 ③	前年度同額補助 事業費の約1/3		10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし		10
成果・費用対効果 ④	JR・JTB等旅行エージェントより高評価を頂いている		10
同一団体への他の補助金の有無	なし		
廃止の見込み、廃止の影響	夏の画一的PRができなくなり、個々のイベント組織のPR費用分が増加となる		

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	----	------	----	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4253
No 2114	補助金名 夏色観光協会下田運営本部補助金		
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金補助及び交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	夏色観光協会下田運営本部	事務局	下田商工会議所
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	24	補助終期設定	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	0	0	0
26	200,000	200,000	400,000
25	200,000	200,000	400,000

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	200,000	200,000	400,000
24	400,000	0	400,000
23			

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	下田を舞台としたアニメ「夏色キセキ」の放映に伴い、来遊者増を図るため有志により「夏色観光協会下田運営本部」が設立された。	
目的・内容 ②	①制作会社との著作権等調整業務 ②聖地巡礼者へのおもてなし及びイベント企画 ③地域活性化のための商品開発	10
国・県の補助の有無	県よりニューツーリズム補助金500千円	
公益性の所在 ①	アニメによる街おこし事業の先進地成功事例として、埼玉県久喜市や秩父市があり、来遊者増による地域経済への波及効果は高い	10
市が補助すべき理由 ②	下田市を舞台としたアニメ活用により、新たな誘客手法として必要である また一般寄附があり、特定財源として充当している	10
代替手段との比較	なし	
補助金の主な用途 ③	運営費(マップ作成、グッズ作成、スタンプラリー経費等)	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	平成26年度で補助終了	0
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③	問題なし	9
成果・費用対効果 ④	県ニューツーリズム補助金用途として、小額補助であるにも関わらず、十分な効果が得られたと、県の補助担当者より高評価を得ている	10
同一団体への他の補助金の有無	なし	
廃止の見込み、廃止の影響	根強いファンが存在し、夏色キセキを目当ての来遊者が減少する(伊東-下田)間の定期購入者も存在する	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性	6.33	④効果	10
------	----	------	----	------	------	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4250
No 2117	補助金名	フォトロゲイニング実行委員会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金及交付金に関する補助金			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人が楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	フォトロゲイニング実行委員会	事務局	フォトロゲイニング実行委員会
補助金の性質	<input type="radio"/> 運営費的補助 <input type="radio"/> 活動費的補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input checked="" type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	H 26	補助終期設定	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	0	0	0
26	1,000,000	0	1,000,000
25			

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	0	0	0
24			

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	平成25年度にネクスコ中日本企画がスポンサーとなり、市負担なしで、実行委員会より下田を開催地とした打診があり、これに応じ開始された。	
目的・内容 ②	市内のチェックポイントをデジタル撮影機器で撮影しながら巡り、ポイントを競うスポーツの実施。市外からの来遊者による宿泊が見込める。	10
国・県の補助の有無	なし	
公益性の所在 ①	新たなカテゴリーでの誘客が見込めるため、十分な公益性がある	10
市が補助すべき理由 ②	参加者の半数程度の宿泊が見込め、おもてなしを行うことで下田をアピールでき、効果は高い	10
代替手段との比較	代替手段なし	
補助金の主な使途 ③	運営費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	総事業費の約五分の一	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③		
成果・費用対効果 ④	H25大会についてのアンケート結果から、再訪したい等の回答があり、また約半数が宿泊するなど、成果は高い。	10
同一団体への他の補助金の有無	なし	
廃止の見込み、廃止の影響	5年度程度は継続実施していきたい	

○評価点

①公益性	10	②必要性	10	③適格性		④効果	10
------	----	------	----	------	--	-----	----

平成26年度 補助金交付事業 担当課評価調書

担当課・係 観光交流課 観光戦略係	記載者職・氏名 中田和明
-------------------	--------------

新規・継続	継続	予算事業コード	4253
No 2118	補助金名	全日本級別サーフィン選手権大会補助金	
根拠法			
交付要綱等名称 下田市負担金及交付金に関する規則			
総合計画の位置付け	施策体系	3-1-3	観光
	基本目標	自然や歴史をはじめとする下田の魅力を活かし、多くの人を楽しめるまちを目指します。	
業務作戦書の位置付け	戦略の核		
	2桁コード		
補助対象者	日本サーフィン連盟	事務局	日本サーフィン連盟
補助金の性質	<input checked="" type="radio"/> 運営費の補助 <input type="radio"/> 活動費の補助 <input type="radio"/> 施策的補助 <input type="radio"/> 奨励的補助		
補助開始年度	26	補助終期設定	補助率 % 1件当たり補助上限額 円

○当初予算額

年度	一般財源	特定財源	予算総額
27	400,000	0	400,000
26	400,000	0	400,000
25			

○過去5年の決算額

年度	一般財源	特定財源	決算総額
25	0	0	0
24			

○チェック項目と評価内容

事業開始のきっかけ	千葉で開催されていた大会を、白浜在住の酒井氏(連盟会長)の尽力によ、りH26から下田白浜大浜海岸へ誘致できた	
目的・内容 ②	全日本クラスのサーフィン大会の実施	8
国・県の補助の有無	なし	
公益性の所在 ①	全国のトップクラスの選手他関係者が訪れ、宿泊するため経済波及効があり、公益性は高い	10
市が補助すべき理由 ②	大会関係者を含め500名以上が3泊以上する、経済効果の高い事業であるため	10
代替手段との比較		
補助金の主な使途 ③	運営費	10
当初目的の達成度		
予算要求額の算出根拠・方法 ③	総事業費6,000千円の約7%	10
繰越額・積立額と補助金交付額との比較 ③		10
成果・費用対効果 ④	「市が補助すべき理由」のとおり	10
同一団体への他の補助金の有無	なし	
廃止の見込み、廃止の影響	今後においても継続誘致していきたい	

○評価点

①公益性	10	②必要性	9	③適格性	10	④効果	10
------	----	------	---	------	----	-----	----